

## 2. 稀府地区



## 2. 稀府地区

### 1. 稀府地区の現況

当地区は、本市の南東部に位置し、西は谷藤川、東は牛舎川を両端として北から南に向かってなだらかな扇状を呈した田園緑地や優良農地が広がっています。また、稀府岳に展開する森林地帯の恵まれた自然環境は、水源のかん養、災害防止などの緑地ゾーンを形成しています。

まれふふれあい公園（くじら公園）や牛舎川公園は、地域の個性ある公園づくりのため、子どもからお年寄りの方々が計画段階から多数参加してできた公園で、維持管理に協力するなど、地域のかげがえのない資源になっています。

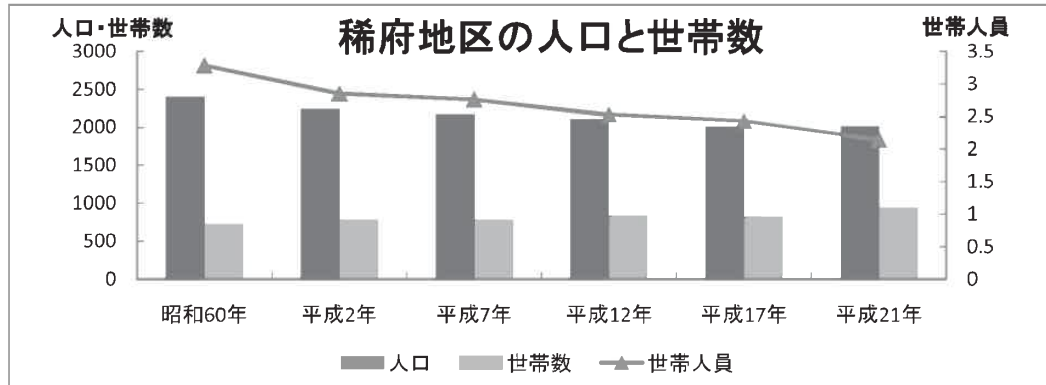
### 2. 稀府地区の課題

- ・ みどり団地地区の住環境の整備が望まれています。
- ・ JR稀府駅前周辺の北海道条例指定区域（旧既存宅地）については、道路・下水道などの基盤整備が望まれています。
- ・ 近年、自然に恵まれ、ゆとりとうるおいのある農山村地域での生活を望む人が多くなっており、このようなニーズに対応した住宅地の創出が求められています。
- ・ 市の中心市街地を結ぶ交通軸としての国道37号や都市軸としての道道南黄金長和線、都市計画道路古平通の整備が求められています。また、生活軸としての地区内道路の整備や通学路の歩道整備が必要となっています。
- ・ 身近な街区公園などの適正配置が求められています。
- ・ 普通河川谷藤川や牛舎川については、河川周辺の環境の保全が望まれています。
- ・ 公共下水道事業の早期整備や合併処理浄化槽の普及促進が必要となっています。
- ・ 稀府岳の恵まれた森林地帯の保全が望まれています。

地 区 別 カ ル テ < 稀府地区 >

人口・世帯数

	H17国勢調査	H21住基台帳
人 口	1,999 人	2,013 人
世 帯 数	327世帯	941世帯



都市計画の状況

区分	面積	割合
市街化区域	28.2	100.0%
第1種低層住居専用地域	28.2	100.0%
第2種低層住居専用地域	0.0	0.0%
第1種中高層住居専用地域	0.0	0.0%
第2種中高層住居専用地域	0.0	0.0%
用途地域		
第1種住居地域	0.0	0.0%
第2種住居地域	0.0	0.0%
準住居地域	0.0	0.0%
近隣商業地域	0.0	0.0%
商業地域	0.0	0.0%
準工業地域	0.0	0.0%
工業地域	0.0	0.0%
工業専用地域	0.0	0.0%

道路

番号	路線名	幅員
3・3・207	一般国道37号線	24
3・4・112	古平通	16

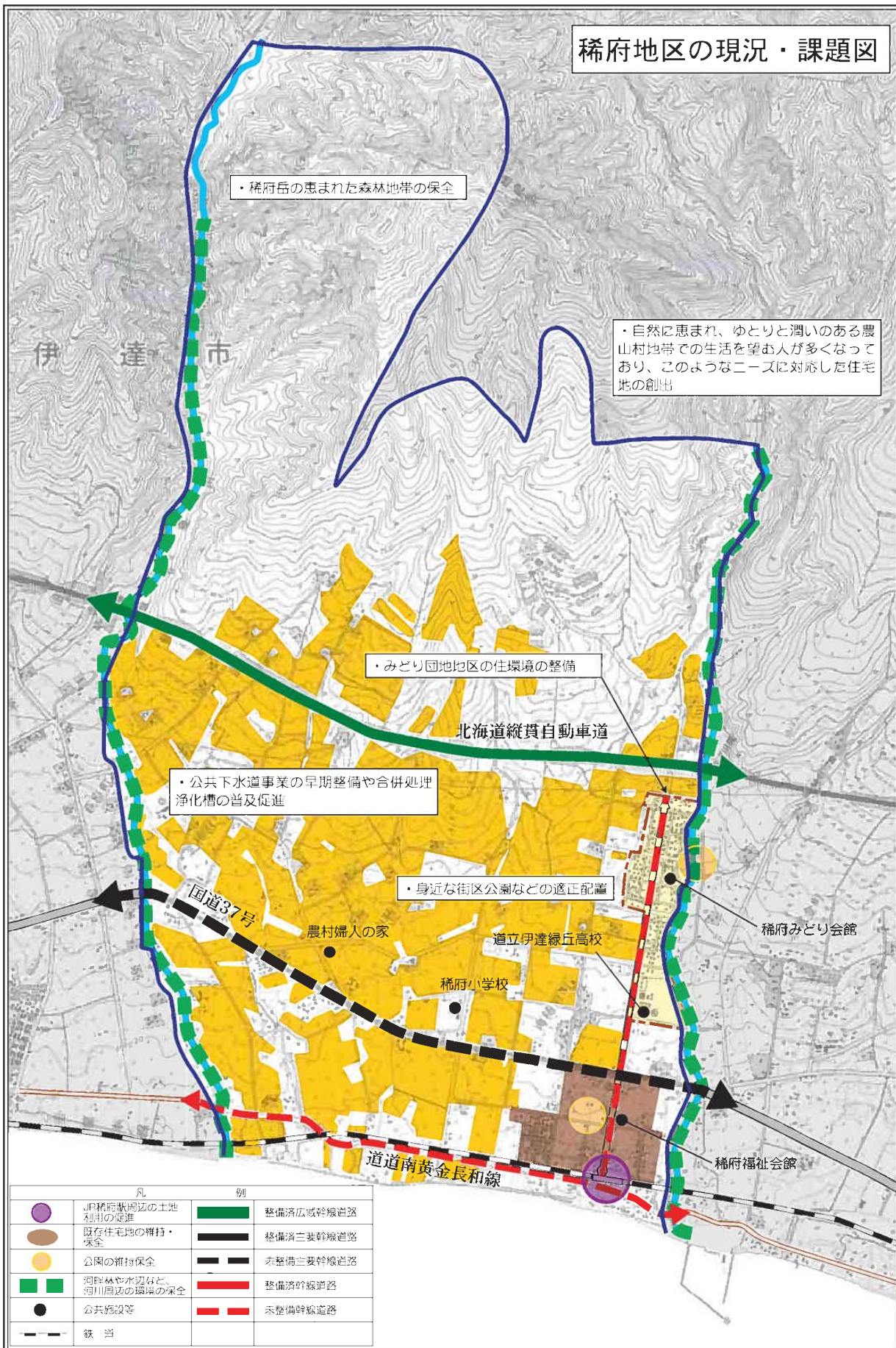
公共施設

- 1 稀府小学校
- 2 道立伊達緑丘高校
- 3 稀府みどり会館
- 4 稀府福祉会館
- 5 農村婦人の家

公園

番号	名称	面積
2・2・306	みどり児童公園	0.46
2・2・320	まれふふれあい公園	0.50

# 稀府地区の現況・課題図



### 3. 稀府地区のまちづくり方針

#### (1) 土地利用

- ・ J R 稀府駅周辺の北海道条例指定区域（旧既存宅地）については未利用地を活用した住宅地などの整備により、コミュニティの維持、活性化や良好な住環境の保全に努めます。
- ・ 既成住宅地における生活道路や下水道、合併処理浄化槽、公園などの生活環境基盤の整備に努めます。
- ・ みどり団地や栗林団地内の地区内道路の計画的な整備を進めるとともに、住環境の改善を図ります。
- ・ 自然とのふれあいのなかで健康増進、やすらぎの場として、緑豊かな稀府岳の森林や、優良農地の保全に努めます。

#### (2) 都市施設

- ・ J R 稀府駅を利便性の高い交通の拠点として、駅前周辺的环境整備に努めます。
- ・ 国道37号や道道南黄金長和線、道道稀府停車場線の整備にあたっては、交通量に対応した車線の確保に努めます。また、地域内を結ぶ生活道路の整備を進めます。
- ・ 牛舎川公園周辺をレクリエーションの場として活用するため、散策路の充実を図ります。また、身近な街区公園などの整備に努めます。
- ・ 公共下水道の早期整備を進め、生活排水処理基本計画に基づく合併処理浄化槽の普及促進に努めるとともに、関連施設の整備を進めながら、生活環境の改善を図ります。

#### (3) 都市環境・景観の形成

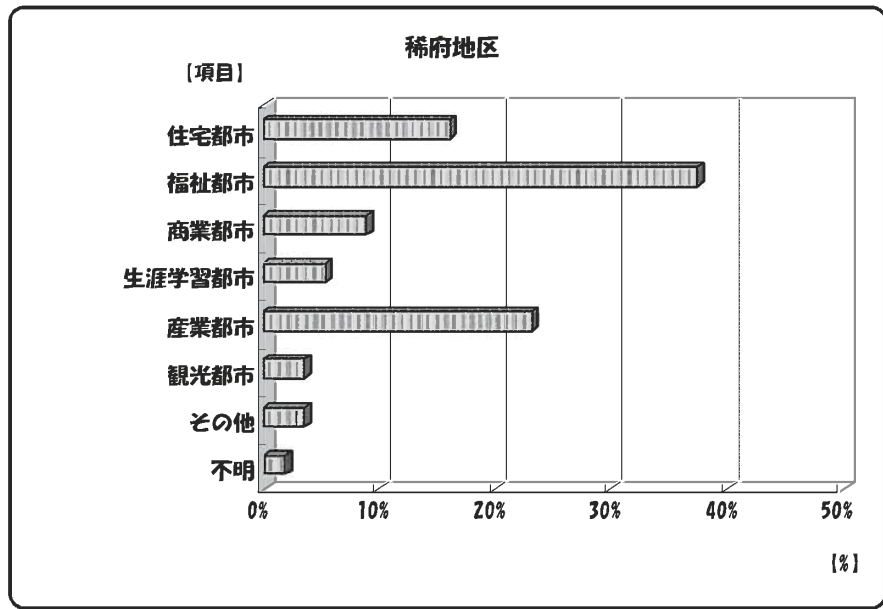
- ・ 沿道緑化を促進するとともに、稀府岳に広がる森林地帯の緑を保全し、自然と共生したまちづくりに努めます。
- ・ 地域を流れる普通河川牛舎川、谷藤川などの河川緑化と河畔林の保全を図ります。

## 稀府地区の皆さんのまちづくりへの提案

- ・行政と協働で地域ボランティア活動の組織化を進め、高齢者対策に取り組むことが必要
- ・既存公共施設の充実を図ることが必要
- ・農業振興対策の充実
- ・稀府共同墓地の充実が必要
- ・公営住宅の建設の検討
- ・企業立地の誘導の検討
- ・地区内に行政関係施設の立地の検討

など

稀府地区の皆さんが望んでいる「20年後の伊達市」です。



(まちづくりアンケート調査より)

# 稀府地区整備方針図

凡		例					
	商業地		広域幹線道路		公園		都市中心
	沿道商業地		主要幹線道路		緑地		地区中心
	一般住宅地		幹線道路		河川		水と緑の拠点
	低層住宅地		補助幹線道路		歴史資源		観光・レクリエーションの拠点
	工業地		水と緑の軸		観光資源		歴史資源の中心
	特設住宅地として想定される区域		農振・農用地				

